

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 353-6311 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2022年10月16日



## 先週号に続き、 井上議員の 本会議質問 (10月3日) のポイントを 紹介します



南区内の大通り周辺など、市長が、または規制緩和策を打ち出しました。より高いビル、より大きなビルを建てても構わない、という方向です。空が狭くなる、家賃や固定資産税が高くなる、事業所は増えるか

## 家賃や固定資産税が高くなる!?

より高く、より大きなビルを認める

### Ⅱ市長が一層の規制緩和策Ⅱ

市民意見提出は11月16日まで

## 市財政危機の根本的打開の為には、国の大企業・富裕層への大幅減税への批判的視点が不可欠

なぜなら、①国の法人税減税が京都市の法人市民税の減収の原因に。②富裕層の市民税が安いのは国の法律で決まっているから。③一般の市民税率は8%なのに、株を売って得た利益は半分の4%。これも国が決めている。

## 問題は、国だけでなく、市長の姿勢

しかし問題は、国が悪いというだけでなく、むしろ、その国に要求せず、市長自身が今の不公平税制でいいと思っていること。大企業や富裕層から、所得に応じた税金を集めようとしめないこと、つまり、税収増への努力をしないこと。そのくせ、「財政危機」と言って、市民にしわ寄せするのが大問題。

## 輪をかけて、更に問題、市長の姿勢

市独自の問題でも、市長はムダ遣いやヘルスピア廃止など。市役所の茶室や地下通路などのムダ遣い。南区通過予定の北陸新幹線や、油小路通り地下トンネルは、ムダづかいだけに留まらず、住まいの環境を破壊。井上議員は大型事業の計画中止を要求、またヘルスピア廃止方針の撤回を求めました。

更に、後期高齢者医療の窓口負担の値上げ撤回、国保も含め、保険料引下げ、保険料減免要件の緩和などを求めました。

もしれないが、そこに住む人口が減るおそれもある、等々、様々な

## インフルエンザ予防接種の値上げ撤回を

10月15日から接種ですが、費用は一律千五百円と市が言っています。従来、所

問題点が危惧されます。来月16日まで、市民意見を出せます。詳細は井上議員までお気軽に。

10月16日(日)  
**議会報告演説会**  
 ●午後2時～  
 (於) テルサ西館 3階第2会議室  
 ●午後3時～  
 (於) 唐橋公民館



憲法9条京都の会学習会(10/1)



六孫王神社祭りにて(10/10)



「東寺道マルシェ」を訪問(10/10)

生や、九条健康友の会など多くの市民団体から、市議会宛て、値上げ撤回を求める陳情書が出されています。コロナ感染拡大や後期高齢者の医療窓口負担高値上げなどの情勢の中で、市長は、更に、医療や予防から市民を遠ざけようとしています。一律化は撤回すべきです。